

2023年3月期 第3四半期連結決算概要

2023年2月9日

株式会社プロテリアル

2023年1月4日に日立金属株式会社は株式会社プロテリアル(以下、当社)に社名変更しました。当社は、Bain Capitalが軸となる企業コンソーシアムが全株式を所有する株式会社BCJ-52 による当社普通株式に対する公開買付およびその成立後の一連の取引を通じて、2023年1月5日に株式会社BCJ-52 の完全子会社となりました。

1.業績概要①

金額単位:億円 (斜体文字は利益率)	2021年度 3Q(10-12月)		2021年度 3Q累計(A)		2022年度 1Q(4-6月)		2022年度 2Q(7-9月)		2022年度 3Q(10-12月)		2022年度 3Q累計(B)		3Q累計 前年同期比 (B/A-1)×100[%] またはB-A
	1\$=114円 1€=130円 1元=17.8円		1\$=111円 1€=131円 1元=17.3円		1\$=130円 1€=138円 1元=19.6円		1\$=138円 1€=139円 1元=20.2円		1\$=142円 1€=144円 1元=19.9円		1\$=137円 1€=141円 1元=19.9円		
売上収益	2,344		6,908		2,768		2,919		2,790		8,477		+23%
調整後営業利益*	2.3%	53	3.0%	206	4.3%	118	4.6%	133	3.9%	109	4.2%	360	+154
IFRS営業利益	1.8%	42	2.8%	190	3.5%	98	3.9%	114	2.7%	76	3.4%	288	+98
税引前当期利益		52		205		199		185		△34		350	+145
親会社株主に 帰属する当期利益		22		135		151		142		△13		280	+145

*:調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

■地域別売上高

金額単位:億円		日本	北米	中国	その他アジア	欧州	その他	海外合計
2021年度	売上収益	2,988	1,973	640	867	306	134	3,920
	3Q累計 売上比率	43%	29%	9%	13%	4%	2%	57%
2022年度	売上収益	3,232	2,836	731	1,082	415	181	5,245
	3Q累計 売上比率	38%	33%	9%	13%	5%	2%	62%
	売上収益 前年同期比	+8%	+44%	+14%	+25%	+36%	+35%	+34%

2. 業績概況②

金額単位:億円 (斜体文字は利益率)		2021年度	2022年度	3Q累計 前年同期比 (B/A-1)×100[%] またはB-A	
		3Q累計(A)	3Q累計(B)		
金属材料	売上収益	1,937	2,217	+14%	
	特殊鋼製品 調整後営業利益	6.4% 124	9.4% 208	+84	
	IFRS営業利益	6.0% 117	9.3% 206	+89	
	売上収益	2,273	3,134	+38%	
	素形材製品 調整後営業利益	△2.8% △63	0.5% 17	+80	
	IFRS営業利益	△3.2% △73	0.3% 10	+83	
	小計*	4,210	5,351	+27%	
	調整後営業利益	1.4% 61	4.2% 225	+164	
	IFRS営業利益	1.0% 44	4.0% 216	+172	
機能部材	磁性材料・ パワー エレクトロニクス	売上収益	991	1,194	+20%
	調整後営業利益	9.3% 92	8.0% 95	+3	
	IFRS営業利益	9.9% 98	7.1% 85	△13	
	電線材料	売上収益	1,704	1,934	+13%
	調整後営業利益	2.2% 38	0.2% 4	△34	
	IFRS営業利益	2.1% 35	△0.4% △8	△43	
	小計*	2,695	3,128	+16%	
	調整後営業利益	4.8% 130	3.2% 99	△31	
	IFRS営業利益	4.9% 133	2.5% 77	△56	
その他・調整額	売上収益	3	△2	-	
調整後営業利益	15	36	+21		
IFRS営業利益	13	△5	△18		
合計	売上収益	6,908	8,477	+23%	
調整後営業利益	3.0% 206	4.2% 360	+154		
IFRS営業利益	2.8% 190	3.4% 288	+98		

*:セグメント間相殺前の単純合計値

【売上収益】

- ✓需要は特殊鋼、希土類磁石・フェライト磁石等で減少したものの、自動車鋳物やパワーエレクトロニクスが増加しました。
- ✓原材料価格上昇(価格スライド制)や円安が増収要因となり、全セグメントで売上収益は増加しました。その結果、前年同期比23%増の8,477億円となりました。

【調整後営業利益】

- ✓原材料価格・エネルギーコストの高騰に加え、物流費の増加がありましたが、各種コスト削減施策の推進、販売価格の改定、円安による利益増加等があり、前年同期比154億円増の360億円となりました。
- ✓セグメント別では、特殊鋼製品、素形材製品、磁性材料・パワーエレクトロニクス製品の各セグメントで増加しましたが、電線材料セグメントでは、自動車部品の生産性低迷等により減少しました。

3. 財政状態

金額単位:億円	2021年度末 1\$=122円 1€=137円 1元=19.3円	2022年度3Q末 1\$=133円 1€=141円 1元=19.0円	増減
資産合計	10,697	11,006	+309
売上債権	1,873	1,862	△11
棚卸資産	2,284	2,611	+327
固定資産	4,496	4,502	+6
負債合計	5,386	5,257	△129
有利子負債	1,969	1,792	△177
親会社株主持分	5,276	5,714	+438
非支配持分	35	35	0
親会社株主持分比率	49.3%	51.9%	+2.6pt
D/Eレシオ(倍)	0.37	0.31	△0.06
NET有利子負債*	723	606	△117

✓円安、原材料価格の上昇により棚卸資産が増加

*: NET有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物

4. 連結キャッシュ・フロー

金額単位:億円	2021年度 3Q累計	2022年度 3Q累計	前年同期比
営業活動に関するキャッシュ・フロー（営業CF）	△164	390	+554
投資活動に関するキャッシュ・フロー（投資CF）	△62	△210	△148
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	△226	180	+406

営業CF：運転資金の改善および四半期利益の増加等により、前年同期比+554億円。

投資CF：2021年度に資産売却収入があったことと、2022年度の設備投資の増加等により、前年同期比△148億円。

✓ 株式会社プロテリアルとして始動

当社は、2023年1月4日に日立金属株式会社から株式会社プロテリアルに社名を変更しました。新商号プロテリアル(PROTERIAL)は、当社の企業理念のエッセンスを反映しており、“PRO”+“MATERIAL”から作られています。

PROが表すのは**Professional(専門的な)**、**Progressive(革新的な)**、**Proactive(主体的な)**の3つの言葉で、それぞれに「期待を超える仕事」「挑戦し続ける意志」「主体的な姿勢」という意味を込めています。MATERIALはこれら3つのPROに支えられた独創的な技術から生み出される、高機能材料を意味します。

✓ xEV 駆動モーター用高性能フェライト磁石の提案を開始

当社の高性能フェライト磁石 NMF[®]15 を適用したモーター(以下、フェライト磁石モーター)を最適化設計することで、ネオジム磁石を使用したxEV用駆動モーターと同等レベルの出力が得られることを、シミュレーションで確認しました。高価なレアアースを使用しないため、拡大する xEV 需要に対し、資源リスクの軽減とコストの抑制が期待できます。

✓ 国内最大級の自家消費型太陽光発電設備を導入

熊谷地区において、敷地内の自家消費型太陽光発電設備としては国内最大級の規模となる太陽電池モジュール総出力約 10MW(メガワット)の太陽光発電設備を導入することを決定しました。

2023年9月稼働(予定)、発電電力量約 1,150 万 kWh/年、二酸化炭素(CO₂)削減量は 5,100 トン/年。

PROTERIAL
